

平成27年度 理学療法学ユニット研究活動状況

A. 平成27年度 理学療法学ユニットの構成メンバー

鈴木 俊明、谷埜予士次、谷 万喜子、米田 浩久、
吉田 隆紀、大沼 俊博、鬼形周恵子、後藤 淳、
高木 綾一、文野 住文

B. 研究活動概要

今年度の研究テーマは、下記のようなものである。

- 1) 理学療法評価および治療に関する神経生理学的・生体力学的研究
- 2) 理学療法と鍼灸医学の考えを組み合わせた新しい治療法の開発と、その効果に関する神経生理学的研究
- 3) 運動学習、運動イメージに関する神経生理学的研究
- 4) 神経疾患に対する鍼治療効果に関する基礎および臨床研究

C. 研究業績

国内書籍

鈴木俊明：運動・生理学からみた筋緊張，筋緊張に挑む．斉藤秀之・加藤 浩（編）．文光堂．6-15, 2015

鈴木俊明：脳卒中の場合，中枢神経疾患の筋緊張に対して，感覚入力で挑む．斉藤秀之・加藤 浩（編）．文光堂．20-25, 50-52, 2016

谷埜予士次、笹井美伽：足関節果部骨折における歩行分析，動作のメカニズムがよくわかる 実践！動作分析．上杉雅之（監）、西守 隆（編）．医歯薬出版．146-151, 2016

吉田隆紀：足関節捻挫後の動作分析に基づく理学療法，動作のメカニズムがよくわかる 実践！動作分析．上杉雅之（監）、西守 隆（編）．医歯薬出版．141-145, 2016

海外書籍

Suzuki T, Bunnno Y, Tani M, Onigata C, Yoneda H, Todo M, Urugami S, Wakayama I, Yoshida S: Spinal Neural Function during Motor Imagery: Motor Imagery: Emerging Practices, Role in Physical Therapy and Clinical Implications, Nova Science Publishers, Inc. 2015

原 著

鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、吉田隆紀、鬼形周恵子、文野住文、谷 万喜子、若山育郎、吉田宗平：脳血管障害片麻痺患者の麻痺側筋緊張亢進の要因は誘発筋電図により解明できる，理学療法学，42，176-177，2015

鈴木俊明：脳血管障害片麻痺患者の痙縮のリハビリテーション評価としてのF波、H波の応用，The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine，52，335-339，2015

鈴木俊明、文野住文、谷 万喜子、鬼形周恵子、米田浩久、東藤真理奈、浦上さゆり、若山育郎、吉田宗平：随意運動能力の回復にともないF波波形の変化も改善する，脊椎機能診断学，36，59-62，2015

吉田隆紀、鈴木俊明、増田研一：前腕筋群の疲労に対する末梢神経電気療法の効果—グリップ動作課題における握力と筋電図積分値を用いた検討—，日本臨床スポーツ医学会誌，23，552-559，2015

池澤秀起、高木綾一、鈴木俊明：腹臥位での下肢空間保持が非空間保持側の僧帽筋下部線維の筋活動に与える影響 —肩関節外転角度の変化に着目して—，理療科，30，261-264，2015

東藤真理奈、文野住文、米田浩久、鈴木俊明：運動イメージの具体的方法の個人差に関する一考察，理療科，30，405-407，2015

高森絵斗、水口真希、早田恵乃、渡邊裕文、文野住文、鈴木俊明：麻痺側母指球筋に筋緊張亢進を呈した脳血管障害片麻痺患者に対する尺沢への経穴刺激理学療法の効果—抑制テクニックにおけるF波の変化—，理療科，30，939-943，2015

由留木裕子、岩月宏泰、鈴木俊明：ラベンダーの吸入が脊髄神経運動ニューロンに与える影響，臨床神経生理学，43，111-120，2015

鈴木俊明、谷 万喜子、文野住文：基本動作を考える—臨床で必ず観察する基本動作—，関西理学，15，1-2，2015

中道哲朗、渡邊裕文、鈴木俊明：片脚立位一足部機能の検討一、関西理学, 15, 17-21, 2015

井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明：筋力低下の部位の違いによる肩関節最大等尺性収縮時の筋活動変化－開始肢位からの変化量に着目して－、関西理学, 15, 33-37, 2015

早田 荘、楠 貴光、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：一側肩関節屈曲位保持課題における肩関節屈曲角度変化が両側最長筋、多裂筋、腸筋筋の筋電図積分値に及ぼす影響について、関西理学, 15, 39-44, 2015

楠 貴光、早田 荘、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：肩関節水平屈曲角度変化が大胸筋の筋電図積分値相対値に及ぼす影響、関西理学, 15, 45-48, 2015

伊藤 陸、貝尻 望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：立位でのステップ肢位保持における支持側股関節外旋角度変化が支持側大殿筋上部線維と下部線維の筋電図積分値に及ぼす影響、関西理学, 15, 49-52, 2015

大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：背臥位と直立位の肢位変化が内腹斜筋横方向線維の硬度に与える影響 - 組織硬度計を用いた検討 -, 関西理学, 15, 53-56, 2015

野口翔平、玉置昌孝、井上隆文、中道哲朗、藤本将志、鈴木俊明：立位での一側下肢への側方体重移動が多裂筋・腸筋筋・最長筋の筋活動パターンに与える影響について、関西理学, 15, 61-65, 2015

野村 真、嘉戸直樹、伊藤正憲、鈴木俊明：一側上肢での運動課題の練習により生じる対側上肢脊髄神経機能の興奮性の変化－練習課題の違いによる検討－、関西理学, 15, 57-60, 2015

山崎 航、谷埜予士次：歩行の方向転換動作における下肢関節トルク、関西理学, 15, 67-74, 2015

東藤真理奈、文野住文、鈴木俊明：運動イメージ方法の違いによる脊髄神経機能の興奮性変化-複合イメージと単独イメージによる比較-、関西理学, 15, 75-78, 2015

福本悠樹、武 風沙、淵本 恵、文野住人、鈴木俊明：運動イメージが脊髄神経機構の興奮性および運動の正確性に与える影響、関西理学, 15, 79-84, 2015

生田啓記、谷 万喜子、峯山 華、高橋 護、田中健一、井尻朋人、鈴木俊明：太白への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響－異なる鍼刺激および運動回数による検討一、関西理学, 15, 85-91, 2015

上田 透、楠 貴光、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：食事動作における左麻痺側手での腕把持動作に実用性低下を認めた脳梗塞後左片麻痺患者の理学療法、関西理学, 15, 93-99, 2015

水元裕樹、池澤秀起、光田尚代、鈴木俊明：歩行動作の左方向転換時に右側方への不安定性が生じていた脳血管障害左片麻痺の一症例－右広背筋の筋活動に着目して－、関西理学, 15, 101-106, 2015

西谷源基、橋谷裕太郎、早田 荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：両手での洗顔動作が困難であった脳梗塞後右片麻痺患者に対する理学療法、関西理学, 15, 107-115, 2015

田中大志、高森絵斗、早田 荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：体幹屈曲、左非麻痺側回旋および左非麻痺側肩関節水平屈曲が不十分なことで起き上がり動作が困難であった脳出血後右片麻痺患者の理学療法、関西理学, 5, 117-125, 2015

木田知宏、伊藤 陸、貝尻 望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：立位保持時に後方への転倒傾向が生じトイレ動作の実用性が低下した右視床出血後左片麻痺患者の理学療法、関西理学, 15, 135-141, 2015

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明：非周期的な手指反復運動が短潜時体性感覚誘発電位に及ぼす影響、臨床神経生理学, 43, 65-69, 2015

生田啓記、井尻朋人、鈴木俊明：膝関節屈曲角度の変化に伴う膝関節伸展等尺性収縮時の大腿四頭筋における筋活動変化、理療科, 31, 7-11, 2016

文野住文、鈴木俊明、岩月宏泰：異なる筋収縮強度を用

いた母指対立運動イメージが脊髄運動神経の興奮性と自律神経活動に及ぼす影響, 理療科, 31, 117-125, 2016

高橋 護、谷 万喜子、鈴木俊明: アキレス腱付着部への集毛鍼刺激がヒラメ筋のH波に与える影響—2分間での検討—, 日本東洋医学雑誌, 67, 22-27, 2016

Yoshida T, Tanino Y, Suzuki T: Effect of exercise therapy combining electrical therapy and balance training on functional instability resulting from ankle sprain-focus on stability of jumplanding, J, Phys, Ther, Sci, 27, 3069-3071, 2015

Bunno Y, Onigata C, Suzuki T: Excitability of spinal motor neurons during motor imagery of thenar muscle activity under maximal voluntary contractions of 50% and 100%, J, Phys, Ther, Sci, 27, 2775-2778, 2015

Bunno Y, Suzuki T, Iwatsuki H: Motor imagery muscle contraction strength influences spinal motor neuron excitability and cardiac sympathetic nerve activity, J, Phys, Ther, Sci, 27, 3793-3798, 2015

学会発表

鈴木俊明、文野住文、谷 万喜子、鬼形周恵子、米田浩久、東藤真理奈、浦上さゆり、若山育郎、吉田宗平: 運動療法に難渋した脳血管障害片麻痺患者の麻痺側母指球筋H波、F波の出現様式の変化, 第56回日本神経学会学術大会, 新潟, 2015.5

鈴木俊明: 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側母指球筋F波の波形種類について, 第52回日本リハビリテーション医学会学術集会, 新潟, 2015.5

濱野弘幸、鈴木俊明: 鍼刺激が肩関節周囲筋の筋活動に与える影響について偏歴と同経絡の非経穴部位との検証, 第64回公益社団法人全日本鍼灸学会学術大会, 福島, 2015.5

生田啓記、谷 万喜子、高橋 護、鈴木俊明: 太白への鍼刺激が膝関節伸展時の大腿四頭筋筋機能に与える影響—置鍼と単刺の比較—, 第64回公益社団法人全日本鍼灸学会学術大会, 福島, 2015.5

高橋 護、谷 万喜子、鈴木俊明: 頸部ジストニアに対

する鍼治療において～体幹への治療が重要であった一症例～, 第64回公益社団法人全日本鍼灸学会学術大会, 福島, 2015.5

文野住文、由留木裕子、鬼形周恵子、鈴木俊明、岩月宏泰: 運動イメージが脊髄運動神経の興奮性と自律神経活動に与える影響—イメージする収縮速度の違いによる検討—, 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015.6

渡邊裕文、大沼俊博、藤本将志、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明: 座位での側方リーチ動作における足底中心(COP)の変化と内腹斜筋の筋活動について—リーチ距離の違いによる検討—, 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015.6

拜藤繁彰、奥谷拓真、石濱崇史、末廣健児、谷埜予士次、鈴木俊明: テーピングによる下腿回旋のアラインメント変化と着地動作時の筋活動変化について, 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015.6

伊藤正憲、高橋優基、藤原 聡、嘉戸直樹、鈴木俊明: リズム刺激によるペーシングと指タッピングの同期がその後の運動リズムに及ぼす影響 2秒間隔の運動による検討, 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015.6

池澤秀起、井尻朋人、鈴木俊明: 腹臥位での下肢空間保持課題が反対側の僧帽筋下部線維の筋活動に与える影響—前腕の回内・回外角度に着目して—, 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015.6

高崎浩壽、末廣健児、鈴木俊明: 運動を観察させる対象の相違が脊髄神経機能の興奮性に与える影響, 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015.6

嘉戸直樹、伊藤正憲、藤原 聡、高橋優基、鈴木俊明: 姿勢変化が一側の握り動作による対側上肢脊髄神経機能への促通効果に及ぼす影響, 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015.6

高橋優基、藤原 聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明: 基本感覚の7%以内のリズム変化は予測に基づく反応運動を遅延させない, 第50回日本理学療法学術大会, 東京, 2015.6

文野住文、鬼形周恵子、鈴木俊明: 運動イメージが脊

髓運動神経と自律神経活動に及ぼす影響—収縮強度10%と50%による比較—, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

東藤真理奈、文野住文、鈴木俊明：運動イメージ方法の違いによる脊髄神経機能の興奮性変化-複合イメージと単独イメージによる比較—, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

山崎 航、谷埜予士次：歩行の方向転換動作における下肢関節トルク, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

生田啓記、井尻朋人、谷 万喜子、鈴木俊明：膝関節屈曲角度の変化に伴う膝関節伸展等尺性収縮時の大腿四頭筋における筋活動変化, 第4回日本アスレティックトレーニング学会学術集会, 千葉, 2015.7

光田尚代、井尻朋人、鈴木俊明：Quadriceps Settingの即時効果が足圧中心に及ぼす影響, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

梅本梨花、今井庸介、鈴木俊明：右遊脚期に転倒傾向を認めた右股関節強直を伴う患者の一症例—代償動作に着目して—, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

藤岡尚美、池澤秀起、鈴木俊明：着座動作時に後方への不安定性と大腿前面に疼痛を認めた左膝蓋骨骨折患者の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

川崎由希、光田尚代、鈴木俊明：歩行時の左中殿筋の筋収縮に着目することで歩容が改善した左大腿骨近位端骨折の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

大江実穂、光田尚代、鈴木俊明：股関節伸展筋、外転筋の筋力向上により、歩行速度が改善した左大腿骨頸部骨折の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

田中勇翔、山口 彩、鈴木俊明：左中殿筋に着目することで歩行時の前額面の転倒傾向が改善した右視床出血の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

長尾侑治、光田尚代、鈴木俊明：左腓腹筋に着目した理学療法により杖歩行時の不安定性改善を認めた脳梗塞後左片麻痺の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

福田圭志、光田尚代、井尻朋人、鈴木俊明：転倒リスク評価について—転倒方向との関係性に着目—, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

加藤祥子、光田尚代、井尻朋人、鈴木俊明：立位における上肢遠位関節運動時の予測的姿勢制御—筋電図を用いた検討—, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

伊藤紀代香、高田 毅、鈴木俊明：体幹・骨盤アライメントの改善により姿勢・動作が改善した多系統委縮症患者の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

佐々木元勝、岩淵順也、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：歩行時に麻痺側股関節に疲労感が生じ耐久性低下を認めた脳梗塞片麻痺患者の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

岡本雄大、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：左股関節屈曲可動域制限により立ち上がり動作の安定性低下を認めた右大腿骨頸部骨折患者の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

清水貴史、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：歩行の左立脚中期に左後方への転倒傾向を認めた脳梗塞左片麻痺患者の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：股関節屈曲可動域制限により胡坐から左前方への立ち上がり時に実用性の低下を認めた骨盤骨折の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

西村 健、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明：体幹右前方傾斜により歩行の安定性低下を認めた腹部大動脈瘤後廃用症候群の一症例, 第27回大阪府理学療法学会, 大阪, 2015.7

土屋笹奈、井尻朋人、鈴木俊明：訪問STで経験した回

復期リハビリテーション病棟退院後に軽度の嚥下・味覚障害を併発した一症例, 第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 大阪, 2015.9

川島康裕、光田尚代、井尻朋人、鈴木俊明：ショートステイを利用したメンテナンスリハビリテーションにより身体機能が改善し在宅生活を継続した一症例, リハビリテーション・ケア合同研究大会, 兵庫, 2015.10

三浦雄一郎、福島秀晃、森原 徹、来田宣幸、野村照夫、鈴木俊明：肩関節自介助運動の筋電図学的特徴, 第12回肩の運動機能研究会, 宮城, 2015.10

井尻朋人、鈴木俊明：肩関節水平内外転等尺性収縮における肩甲骨周囲筋活動の分析, 第12回肩の運動機能研究会, 宮城, 2015.10

楠 貴光、早田 荘、大沼俊博、渡邊裕文、野口克己、久保恭臣、鈴木俊明：上腕三頭筋長頭の電気刺激による筋収縮が肩甲骨位に及ぼす影響, 第12回肩の運動機能研究会, 宮城, 2015.10

文野住文、鬼形周恵子、東藤真理奈、福本悠樹、鈴木俊明：10%収縮強度運動イメージが脊髄運動神経の興奮性に与える影響－運動イメージ時の自覚的筋収縮強度を考慮して－, 第23回日本物理療法学会学術大会, 兵庫, 2015.10

鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷 万喜子、若山育郎、吉田宗平：座位の前屈姿勢の改善には大腰筋、腸骨筋の働きが重要である, 第9回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, 東京, 2015.10

吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明、増田研一：外反母趾症状を有する女子大学生の身体的および歩行時の特徴, 第55回近畿理学療法学会学術大会, 兵庫, 2015.11

文野住文、鬼形周恵子、鈴木俊明：運動イメージ時間は脊髄運動神経の興奮性に影響を与えるか, 第45回日本臨床神経生理学学会学術大会, 大阪, 2015.11

前田剛伸、野村 真、嘉戸直樹、鈴木俊明：手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響－イメージ統御可能性の評価を用いた検討－, 第45回日本臨床神経生理学学会学術大会, 大阪, 2015.11

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明：片手動作および両手動作が体性感覚機能の及ぼす影響－短潜時SEPを用いた検討－, 第45回日本臨床神経生理学学会学術大会, 大阪, 2015.11

小松菜生子、水口真希、高森絵斗、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：健常者における安静時F波を構成する波形の種類について, 第45回日本臨床神経生理学学会学術大会, 大阪, 2015.11

由留木裕子、岩月宏泰、鈴木俊明：脊髄運動ニューロンの興奮性と自律神経活動に及ぼすラベンダーの効果, 第45回日本臨床神経生理学学会学術大会, 大阪, 2015.11

上村拓矢、新谷星耶、森原 徹、吉田隆紀、鈴木俊明：野球経験者における体幹の可動性と運動時の体幹筋の特徴, 第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 兵庫, 2015.11

平瀬尚貴、井上達哉、由井和久、佐々木英文、鈴木俊明：母趾屈曲運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響－動画を用いた視覚刺激下での性差の相違について－, 第24回日本柔道整復接骨医学会学術大会, 新潟, 2015.11

柳原ちはる、中上飛鳥、宮迫絢冬、佐々木英文、鈴木俊明：母趾屈曲運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響－鏡を介する運動イメージの関連性について－, 第24回日本柔道整復接骨医学会学術大会, 新潟, 2015.11

中西康将、佐々木英文、鈴木俊明：母趾屈曲運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響～座位での視覚を用いた運動イメージによる検討～, 第24回日本柔道整復接骨医学会学術大会, 新潟, 2015.11

西谷源基、楠 貴光、早田 荘、渡邊裕文、鈴木俊明：座位での側方リーチ動作開始時における脊椎・骨盤帯の動きについて, 第2回日本基礎理学療法学会学術集会・日本基礎理学療法学会 第20回学術大会, 神奈川, 2015.11

黒部正孝、東藤真理奈、文野住文、鈴木俊明：手指対立運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響－利き手側と非利き手側の比較－, 第2回日本基礎理学療法

学会学術集会・日本基礎理学療法学会第20回学術大会, 神奈川, 2015.11

福本悠樹、文野住文、鈴木俊明：運動イメージが脊髄神経機能の興奮性および運動の正確性に与える影響について—自覚的筋収縮強度の把握—, 第2回日本基礎理学療法学会学術集会・日本基礎理学療法学会 第20回学術大会, 神奈川, 2015.11

池田幸司、末廣健児、木津彰斗、國枝秀樹、高崎浩壽、鈴木俊明：端座位での側方リーチ動作における圧中心軌跡と股関節周囲筋の筋活動に関する検討—運動開始前後の運動学的特徴に着目して—, 第55回近畿理学療法学会学術大会, 兵庫, 2015.11

木津彰斗、末廣健児、國枝秀樹、石濱崇史、池田幸司、鈴木俊明：端座位での前方リーチ肢位保持における大殿筋および内側・外側ハムストリングスの筋活動, 第55回近畿理学療法学会学術大会, 兵庫, 2015.11

伊藤 陸、早田 莊、池田幸司、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明：座位での股関節内旋・外旋位保持課題が大殿筋上部線維、中殿筋前部線維、大腿筋膜張筋の筋電図積分値に及ぼす影響, 第55回近畿理学療法学会学術大会, 兵庫, 2015.11

中道哲朗、渡邊裕文、鈴木俊明：片脚立位における支持側小趾外転筋の筋活動パターンの検討, 第55回近畿理学療法学会学術大会, 兵庫, 2015.11

生田啓記、谷 万喜子、高橋 護、鈴木俊明：太白への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響—置鍼中における運動回数の影響—, 平成27年度（公社）全日本鍼灸学会 第35回近畿支部学術集会, 大阪, 2015.11

高橋 護、生田啓記、谷 万喜子、鈴木俊明：アキレス腱への3分間の集毛鍼刺激がヒラメ筋のH波に与える影響, 平成27年度（公社）全日本鍼灸学会第35回近畿支部学術集会, 大阪, 2015.11

鈴木俊明、文野住文、谷 万喜子、鬼形周恵子、東藤真理奈、福本悠樹、浦上さゆり、吉田宗平：運動イメージが効果を認めなかったF波の波形の種類は増加することがある, 第37回脊髄機能診断研究会, 東京, 2016.2

河野達哉、奥地 涼、和田孝明、秋元 剛、豊島康直、杉之下武彦、山崎 航、谷埜予士次：ハムストリングスに対する疲労課題が大腿四頭筋の反応時間に及ぼす影響, スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会第33回研修会, 神奈川, 2016.3

国際学会

Tanino Y, Suzuki T, Yoshida S: Electromyogram power spectrum properties of the vasti muscles during isometric ramp contraction, World Confederation for Physical Therapy (WCPT) Congress 2015, SINGAPORE, 2015.5

Yoshida T, Tanino Y, Suzuki T: Effect of exercise therapy combining electrical therapy and balance training on functional instability of ankle sprain - Focus on stability of the jump-landing -, World Confederation for Physical Therapy (WCPT) Congress 2015, SINGAPORE, 2015.5

Takagi R, Suzuki T: Current status of standardization of the medical rehabilitation technology in Japan: Analysis of knowledge management, World Confederation for Physical Therapy (WCPT) Congress 2015, SINGAPORE, 2015.5

Suzuki T, Bunno Y, Onigata C, Tani M, Uragami S, Yoshida S: Excitability of Spinal Neural Function using the F-wave during Motor Imagery in Parkinson Disease, 9th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, Berlin-Germany, 2015.6

講演・シンポジウム

鈴木俊明：基礎研究から臨床研究へ（研究の立場から）, 第31回東海北陸理学療法学会学術大会 シンポジウム, 石川, 2015.10

鈴木俊明：運動イメージにおける脊髄神経機能, 第45回日本臨床神経生理学会学術大会, 大阪, 2015.11

鈴木俊明：美しい動作の分析方法, 第10回日本感性工学会春期大会, 兵庫, 2016.3

その他

鈴木俊明：熱く対応することの素晴らしさ，理学療法ジャーナル，49, 97, 2015

鈴木俊明：研究を続けるために「理学療法ジャーナル」は必要であった，理学療法ジャーナルと私，理学療法ジャーナル，20, 111-112, 2016

Suzuki T: The F-Wave and H-Reflex Patterns with increased Stimulus Intensity in Patients with Cerebrovascular Disease for the Neurological Evaluation of Affected Arm or Leg, (Editorial) SM J Neurol abd Neurosci, 1, 1001, 2015

Suzuki T: The Effective Methods for Motor Imagery, (Editorial) Int J Neurorehabilitation 2, 4, 2015